参考書式１－２

廃材運搬費及び処分費内訳書（工作物）

(1) 組成別処理方法及び廃材量

廃材物組成名			処理方法	処理場名	廃材量合計①（㎥）
木くず(㎥)		a	破砕（再生）		
ガレキ類（㎥）	ｺﾝｸﾘｰﾄ(無筋)	b	再生		
	ｺﾝｸﾘｰﾄ(有筋)	c	再生		
	ｱｽﾌｧﾙﾄ塊	d	再生		
金属くず(㎥)		e	再生		
廃プラ(㎥)		f	安定型		
混合廃材(㎥)		g	安定型		

注①：廃材量の小数点以下の処理については、小数点以下第2位（小数点以下第3位四捨五入）で計上する。
ただし、廃材量の値が0．005未満となる場合にあっては、0．01として計上する。

(2) 廃材運搬費

廃材物組成名			台数換算値②（基本10t）	台数換算値③（基本4t）	台数 ①÷②又は①÷③	処理場距離（km）	認定運搬距離（km）
木くず(㎥)		a	15.8	10.5	0.00		
ガレキ類	ｺﾝｸﾘｰﾄ(無筋)	b	8.3	3.3	0.00		
	ｺﾝｸﾘｰﾄ(有筋)	c			0.00		
	ｱｽﾌｧﾙﾄ塊	d					
金属くず(㎥)		e	18.5	7.4	0.00		
廃プラ(㎥)		f	11.5	4.6	0.00		
混合廃材(㎥)		g	10.0	4.0	0.00		

注①：廃材の総量及び周辺道路状況等から10t車を用いることが通常一般的と認められる場合は、10t車の台数換算値を摘要するものとする。（基本10tと基本4tのいずれかを選択）
注②：台数の小数点以下の処理については、小数点以下第2位（小数点以下3位四捨五入）で計上する。 ただし、台数の値が0．005未満となる場合にあっては、0．01として計上する。

処理場名	処理場別台数合計	必要台数（10t）	必要台数（4t）	必要台数（2t）	単価	廃材運搬費［A］	摘要
		-				-	
	0.00		-			-	
	0.00			1		-	
		-				-	
	0.00		-			-	
	0.00			1		-	
		-				-	
	0.00		-			-	
	0.00			1		-	
		-				-	
	0.00		-			-	
	0.00			1		-	
計						-	

注①：10t車を用いる場合のトラックは10t車を標準とし、0.2台未満は「2t車」、0.2台以上0.4台未満は「4t車」、0.4台以上は「10t車」を適用する。
注②：10t車を用いない場合のトラックは4t車を標準とし、0.5台未満は「2t車」、0.5台以上は「4t車」を適用する。

(3) 廃材処分費

廃材物組成名			処分単位（円/㎥）	処分数量	処理場名	処分単価	廃材処分費
木くず(㎥)		a	㎥	-	0		-
ガレキ類	ｺﾝｸﾘｰﾄ(無筋)	b	㎥	-	0		-
	ｺﾝｸﾘｰﾄ(有筋)	c		-	0		-
	ｱｽﾌｧﾙﾄ塊	d		-			-
金属くず(㎥)		e	㎥	-	0		-
廃プラ(㎥)		f	㎥	-	0		-
混合廃材(㎥)		g	㎥	-	0		-

処理場名	処理場別金額合計	廃材処分費［B］	摘要
0 -	-	-	
0 -	-	-	
0 -	-	-	
0 -	-	-	
計		-	

(4) 廃材運搬費及び処分費補償額

廃材運搬費補償額	［A］の合計	＋	諸経費	＝	廃材運搬費
	-	＋	-	＝	-
廃材処分費補償額	［B］の合計			＝	廃材処分費
	-			＝	-
計					-

注：諸経費については、損失補償算定標準書で定める附帯工作物の諸経費率を用いて積算する。（諸経費＝［A］の合計×諸経費率（百円未満切捨て））